

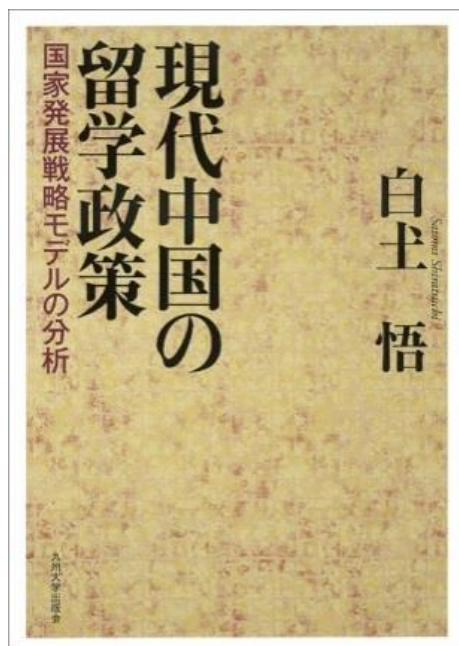
～ 九州大学出版会は西日本一円の国公立大学の共同学術出版会です ～

現代中国の留学政策

国家発展戦略モデルの分析

著編者名	白土 悟	分野	政治・中国
		学術・1アクセス	¥38,500(本体)
底本発行年	2011年	学術・3アクセス	¥57,800(本体)
商品コード	1016502155	底本ISBN	9784798500645

1949年建国以降、激動の歴史を経てきた中国において、海外の知識や技術を導入する際に重要な役割を果たしてきた留学生たち。本書は今日に至るまでの中国の留学政策の変遷とその時代背景を克明に分析する。



目次

- 序章 本研究の概要
- 第1章 中国の留学政策研究における基本的視角
- 第2章 新中国初期における在外留学生の帰国事業
- 第3章 新中国初期におけるソ連・東欧への国家派遣政策
- 第4章 文化大革命期における留学交流の停滞と再開
- 第5章 改革開放前期における公費派遣政策
- 第6章 社会主義市場経済期における公費派遣政策
- 第7章 改革開放期における自費留学制度の形成
- 第8章 中央政府における帰国奨励政策
- 第9章 地方政府における留学帰国者の就業・創業政策
- 第10章 民族自治区政府における留学政策
- 第11章 留学帰国者団体の設立と活動
- 第12章 中国の留学交流の将来動向に関する考察
- 終章 全体のまとめと今後の課題